

みんなの要求みんなで実現！ 広げよう共同の輪！

大阪春闘共闘ニューズ

No.12 2013年3月21日

〒530-0034

大阪市北区錦町2-2

大阪労連気付

TEL (06) 6353-6421

大幅賃上げで景気回復を！

～3.14 大阪総行動に、のべ5000人が参加～

「賃上げでデフレ不況克服を」「大企業は内部留保の還元を」の私たちの要求が、国民の中に広がる中、3月13日には、大阪春闘共闘・大阪労連に結集する仲間は、生活改善に向け交渉をすすめました。翌14日には、交渉での私たちの切実な生活改善要求に耳を傾けない不誠実な「回答」に対してストライキや職場集会などに大阪総行動に、のべ5000人の仲間が立ち上がりました。

14日の早朝、大阪春闘共闘・大阪労連は春闘の勝利に向け、淀屋橋での宣伝をとりくみました。弁士からは、「一時金の増額は当たり前！しかし、ベアが上がらなければ暮らしの底支えにはならない。超勤や失業保険の給付などの基本となる毎月の給料を求めていきましょう」（化学一般・宮崎徹副委員長）など出勤途中の働く仲間呼びかけました。



昼の大阪市役所前での決起集会には府下各地から集結し、組合旗がはためく中、13春闘勝利に向けさらなるたたかいに向け決意を固めました。挨拶に立った川辺和宏春闘共闘代表委員(大阪労連議長)は、デフレ不況克服へ大幅賃上げで労働者のくらしと雇用を守る必要性を強調。「マスコミ報道での大手企業での回答があるが、非正規労働者など処遇改善には不十分。社会を変えるたたかいを大きく広げていこう」と訴え

ました。農民連の原弘行会長から「TPP参加断固拒否に向け、皆さんの賃上げ闘争と固く連帯してたたかう」と連帯のあいさつ。民間、公務、地域のから決意表明が相次ぎました。最後に、みどう筋総行動実行委員会の仁谷元さん(全損保大阪地協書記長)の団結ガンバロー！で春闘後半へのたたかう決意を固めました。



その後行われたデモ行進では、御堂筋から関電本店前など、大企業があつまるオフィス街で「賃上げでデフレ不況克服を！」「大企業は内部留保の還元を！」「原発ゼロの社会を実現しよう！」とアピールしました。

また、通信労組、JMIU、生協労連など早朝からストライキを決行、医労連、福保労、自治労連などは自治体交渉など。国労は憲法学習会、本社包囲行動、労連女性部は菜の花行動などそれぞれの組織で多彩な行動がとりくまれました。



変えよう職場・地域と政治、勝ちとろうちんぎん・雇用・くらしの改善